

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	地方都市ストック・リデザイン小委員会	主 査 名：松浦 健治郎 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野嶋 慎二
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本委員会では、地方都市に眠る様々な都市ストックをリデザインすることにより魅力的な市街地に再生させる手法を研究開発することを目的とする。地方都市を研究対象とする研究者が集まり、その研究成果と英知を結集し、地方都市の様々なストックをリデザインする計画論を提示することは都市計画研究者の責務だと考える。</p> <p><b>初年度：</b>①学会大会オーガナイズドセッション開催 ②研究会 ③先進事例調査及び関係者を交えた意見交換会の開催</p> <p><b>2 年度：</b>①学会大会オーガナイズドセッション開催 ②先進事例調査及び関係者を交えた意見交換会の開催 ③公開研究会</p> <p><b>3 年度：</b>①学会大会オーガナイズドセッション開催 ②先進事例調査及び関係者を交えた意見交換会の開催 ③公開研究会</p> <p><b>4 年度：</b>①学会大会オーガナイズドセッション開催 ②先進事例調査及び関係者を交えた意見交換会の開催 ③研究成果をもとに学会にてパネルディスカッション開催 ④研究成果を取りまとめた書籍の出版</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：松浦健治郎 (千葉大学) 幹事：石村 壽浩 (ランドブレイン (株)), 長 聡子 (西日本工業大学) 委員：阿部俊彦 (立命館大学), 石黒卓 (WIPstudio), 内田晃 (北九州市立大学), 内田奈芳美 (埼玉大学), 小林 剛士 (山口大学), 佐藤 芳治 (宮城学院女子大学), 永瀬節治 (和歌山大学), 野原卓 (横浜国立大学), 益尾孝祐 (愛知工業大学), 尹莊植 (横浜国立大学大学院), 渡部典大 (北海道大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2023 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.urban.kde.yamaguchi-u.ac.jp/stockredesign/index.htm?fbclid=IwAR3YvMe3BbbVdzLjVninKGKxszipWOzJYcOT1eCm-jMm0HVzwmwnNUN78v64">http://www.urban.kde.yamaguchi-u.ac.jp/stockredesign/index.htm?fbclid=IwAR3YvMe3BbbVdzLjVninKGKxszipWOzJYcOT1eCm-jMm0HVzwmwnNUN78v64</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	<p>無</p>
<p>大会研究集会</p>	<p>1. 日本建築学会大会オーガナイズドセッション開催 テーマ「地方都市における空間改編手法」(都市構造再編小委員会との共同開催) 発表題数 17 題, 参加者数最大 75 名, 2023 年 9 月 14 日午前・午後実施</p>
<p>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</p>	<p>無</p>
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</p>	<p>1. 研究会開催(年2回) 5月15日(月)と12月4日(月)に建築会館にて研究会を開催し、4年間の活動計画及び各委員の研究成果を発表した。</p> <p>2. 学会大会オーガナイズドセッション開催 学会大会期間中に都市構造再編小委員会との共同で「地方都市における空間改編手法」というテーマでオーガナイズドセッションを開催した。5セッション計17題の発表を取りまとめるとともに、発表者、参加者と地方都市のストックリザインのあり方を議論した。</p> <p>3. 先進事例調査及び関係者を交えた意見交換会の開催(年2回) 学会大会後の9月15日～16日に小委員会委員や自治体関係者等の協力を得て大津市と和歌山市の中心市街地を見学し、2つの自治体におけるストックリザインの現状と課題についてディスカッションを実施した。また、2月18日～19日には小委員会委員や自治体関係者等の協力を得て長門市湯本地区及び宇部市の中心市街地のストックリザインの状況を見学する予定である。</p> <p>以上の通り、初年度の目標は概ね達成できた。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>・小委員会の活動成果を社会に向けて発信するための書籍出版に向けた企画の取りまとめ</p>